

これから求められる人材とは？

THE GLOBAL GOALS

シンガポール
サステナビリティ・プログラム説明会
参加者募集

サステナビリティから学ぶ！

プログラム内容

シンガポール・サステナビリティ・プログラム (SSP) は、サステナビリティの分野で世界でも先進的な取り組みを実施するシンガポールの事例から学ぶ、海外大学レベルの集中プログラムです。

POINT 1

単位科目
として認定

POINT 2

全13回の
短期集中型
→本研修9回、
事前・事後学習
各2回（予定）

POINT 3

サステナビリティ
とビジネスの
繋がりを
正しく理解する

POINT 4

シンガポールの
先進的リーダーとの
対話から、課題解決
方法・アプローチを
多角的に学ぶ

POINT 5

これからの社会
(世界)に必要なとさ
れる思考・ビジネス
モデルを創造する
人材へ

ファシリテーター：三井幹陽

★★ プロフィール ★★

海外在住26年
CLOラボ・シンガポール代表取締役社長
シンガポール国立大学エグゼクティブ客員教授

アジアを代表する企業のイノベーションアドバイ
ザリーや人材育成を担当

／学生へのメッセージ／

これまでアジア企業のイノベーションに数多く関わってきましたが、
今イノベーションが最も必要とされている分野はサステナビリティ
の分野です。
まさに進取の気性に富み、人間と自然を愛する神戸大学で学ぶ
次代のリーダーを喫緊に必要としています。
是非このプログラムに参加し、シンガポールの先進事例を学び、
最先端でリードしている人々から直接話を聞き、社会・国・地
域・地球を良くするオーナーシップを取りませんか？
皆さんのご参加を心待ちにしています。

シンガポール・サステナビリティ・プログラム (SSP) は下記単位科目として取扱われます

・総合教養科目：神戸グローバルチャレンジプログラム(1単位) ・高度教養科目：インターンシップ実習A(1単位)

お申込みはこちら



説明会

5月11日(水) 17:00~18:00

☑ZOOMで実施

☑説明会申込者へ別途参加リンクを送付

プログラムの詳細は裏面をご参照下さい。

問合わせ先

■プログラムについて 本プログラム担当教員 横川博一
(神戸大学・大学教育推進機構・教授) yokokawa@kobe-u.ac.jp
■個人情報のお取り扱いについて (株)日本旅行 関西教育旅行支店
担当：西田 昌代 masayo_nishida@nta.co.jp

シンガポール・サステナビリティ・プログラムとは

背景

今、私たちの世代は地球・地域・国・社会規模で様々な危機や課題を抱えています。地球温暖化、石油エネルギーへの依存、プラスチック問題、大気・水質汚染、食料自給率の不足、人口増加や減少、貧富の格差拡大、不平等・不公平性など、数多くの課題があげられます。

今まさに、自ら地球的課題を発見しその解決にリーダーシップを発揮できる人材が求められています。特に、サステナビリティの課題を深く理解するためには特定分野の専門知識のみならず、システム思考のように様々な要素との関連性を見極めるスキルが必要です。そして1つの解決方法ではなく、学際的なアプローチを組み合わせる多様なイノベーションが喫緊に必要とされています。

目標①

サステナビリティの重要
分野を解析し、
それらの分野の課題に
対する認識と理解を深
める

目標②

多岐に渡る解決方法や
アプローチに触れ、
企業担当者から直に話
を聞き、事例から学ぶ

目標③

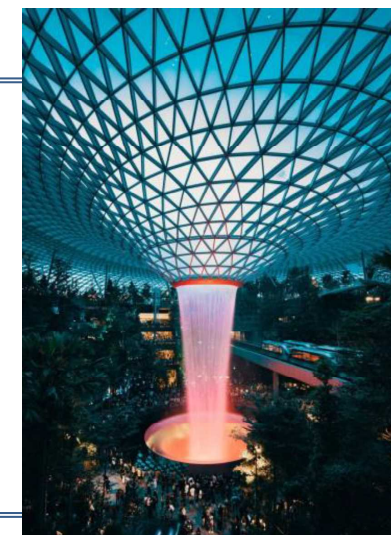
サステナビリティ分野の
リーダー候補としての
当事者意識を醸成する

学修概要

本プログラムはサステナビリティの課題理解に始まり、昨今シンガポールで
トライアルされているグリーン経済政策、共有経済(シェアリングエコノミー)、
循環型経済(サーキュラーエコノミー)、環境・社会・ガバナンス(ESG)、多様
性・公平性・包摂生(DEI)など最先端の解決方法やアプローチで迫ります。

サステナビリティの取組みとして、シンガポールの持続可能性・環境省(MSE)、CDL/CapitaLand
/ Sembcorp / DBSなどのローカル大手企業、Grab/BlueSGなどのイノベーション企業、そして
Style Theory/Circularなどの循環型経済の新しいビジネスモデルで挑戦するスタートアップなど、
先進的な事例を取り上げます。
また上記の企業より担当者をゲストとして呼び出し、直接話を聞き、質疑応答できる機会(英語)も4
回ほど予定しています。

注：実際のゲスト企業、スピーカーはプログラム開催前にアナウンスします。



このプログラムはZOOMを活用したオンライン研修プログラムです

事前学修(7月下旬を予定)

学外学修が始まる約1ヵ月前より、2回
の事前学修をオンライン開催します。
そこではオリエンテーションから始め、な
ぜサステナビリティというテーマか、また
何故シンガポールの取組みから学ぶか
などをインタラクティブにディスカッショ
ンします。
そして本プログラムの修了要件となっ
ている小レポート(総合教養科目)と
小レポート・グループプロジェクト
(高度教養科目)についても
説明します。

事後学修(8月下旬を予定)

事後学習として、総合教養
科目として履修している学
生は小レポートの提出、そし
て高度教養科目として履修
している学生は小レポートの
提出及びグループプロジェ
クトの実施が必要となります。

学外学修(8月下旬を予定)

学外学修は短期集中型とな
り、本年度は全9回ともオンラ
イン開催となります。海外大
学同様、ケースディスカッショ
ンなどインタラクティブに実施
し、その内4回はゲストが登場
します。